

変更届の場合

様式第9号（第37条関係）

変更届出の場合は、変更のある部分について、別紙に
変更前及び**変更後**の内容を対照させて記載してください

該当するもの以外は
二重線で消して
ください

指定炭化水素類発生施設（使用施設に限る。）
~~設置~~（~~使用~~、~~変更~~）届出書

提出日を記載してください

該当する環境管理事務所名又は市名を記載してください
（管轄はパンフレットを参照してください）

令和〇〇年〇〇月〇〇日

（宛先）

埼玉県〇〇〇環境管理事務所長

押印の必要はありません

届出者 〒330-9301

さいたま市浦和区高砂3-15-1

〇〇印刷株式会社

代表取締役社長 埼玉次郎

（電話番号 048-824-2111）

氏名又は名称、住所を記載してください
（※法人の場合は、本社の名称、住所、代表者の氏名）

該当するもの以外は二重線で消してください

埼玉県生活環境保全条例~~第52条第1項~~（~~第53条第1項~~、~~第54条第1項~~）の
規定により、指定炭化水素類発生施設（使用施設に限る。）について、次のとおり
届け出ます。

施設を設置する工場名、支店名、ビル名等を
記載してください

工場又は事業場の名称	(株) 〇〇印刷 ◇◇工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 ◇◇市〇〇1-2-3	※受理年月日	年 月 日
指定炭化水素類発生 施設の種別	2. 印刷の用に供する 施設	※施設番号	
指定炭化水素類発生施設 の構造、貯蔵、使用等を する炭化水素類等の種類 及び気化した炭化水素類 の排出の抑制の方法	別紙1から3までのと おり。	※本結果	

施設の号番号（埼玉県生活環境保全条例施行規則
別表第3参照）及び種類を記載してください
（※パンフレット参照）

例 1号 塗装の用に供する施設
2号 印刷の用に供する施設

- 備考
- 1 変更の届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後
の内容を対照させること。
 - 2 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 3 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除
き、日本産業規格A4とすること。

変更のある部分について、**変更前**及び**変更後**の内容を対照させてください

設置届出 → 着手予定年月日、使用開始予定年月日
使用届出 → 設置年月日
変更届出 → 設置年月日、着手予定年月日、使用開始年月日をそれぞれ記載してください

別紙 2

使用施設において発生する気化した炭化水素類を処理するための設備

工場又は事業場における設備番号	(変更前) F-3-3	(変更後) F-3-3
処理に係る使用施設の施設番号及び名称	2. グラビア印刷機 (G1)	2. グラビア印刷機 (G1)
処理設備の種類、名称及び型式	直火式燃焼装置 NO. 1 インシネレーター	脱臭装置
設置年月日	昭和〇〇年〇月〇〇日	年 月 日
着手予定年月日	年 月 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
使用開始予定年月日	年 月 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
気化した揮発性物質の処理設備への導入方法	印刷乾燥に使用したエアーをダクトを用いて直下式燃焼装置の燃焼炉へ送風する。	印刷乾燥の使用済みエアーを触媒式脱臭装置へ送風する。
除去効率 (%)	90%	97%以上
回収する揮発性物質の処分等の方法	—	—
参考事項		

- 備考
- 1 設置の届出の場合には「着手予定年月日」及び「使用開始予定年月日」の欄に、使用の届出の場合には「設置年月日」の欄に、変更の届出の場合には「設置年月日」、「着手予定年月日」及び「使用開始予定年月日」の欄に、それぞれ記載すること。
 - 2 処理設備の構造及び主要寸法を記載した概要図並びに除去効率に係る設計計算書を添付すること。
 - 3 処理設備の除去効率の算定のための揮発性物質の量の測定箇所及び測定又は算定の方法を説明する書類を添付すること。